

親子聖書日課

NO.1404 2015.8/23-29

名前

[日]「寄らば大樹の陰」で、権力者についていれば安心という人がいますが、そんな生き方はあてになりません。弱く見える母鳥の翼の下にいる方があてになります。それは母鳥はその愛で力の限り守ってくれるからです。神様も同じです。

[月]若くいられる秘訣は、「主の家」に植えられ、「神の庭」で育つことです。それは、「主の家」教会で、「神の庭」御言葉という霊的な養分を頂き、神の恵みを分かち合い、神に感謝することです。すると、最期まで信仰が成長し、霊の実を結びます。

[火]地震や津波・自然界の脅威に恐れを感じますが、天地万物を造られた主は自然界を支配しておられますから、大丈夫です。主の救いは死よりも強いのですから、主を心に迎えるなら、決して揺らぎません。SOSは主にこそ発信しましょう。

[水]詩人は「主よ、報復の神」として立ち上がり、高ぶる者に報復して下さいと祈ります。報復とは「正しく報いる」ことです。決してやり返すことではありません。義なる神だけが、各自の行いに正しく報われます。自分で報復してはいけません。

[木]「今日は忙しいから、明日にしよう」と、主に従うことを先送ってはいけません。明日が来るという保証はないからです。今日こそ、主が招いて下さった救いの日ですから、心を頑なにしてはいけません。主の声に聴き従って、救いを得ましょう。

[金]「聖なる輝きに満ちる主にひれ伏せ」ないで、権力や富にひれ伏す人がいます。そこから争いが起きます。私達は自分の救いに満足してはいけません。世界中の人が真の主にかこひれ伏すよう、日々「御救いの良い知らせを告げましょう」

[土]愛する家族ほど救いから遠いと思うことがあります。祈っても祈っても、主を信じてくれないからです。しかし、山のような頑なな心でも、神の力によって、口ウのように溶かされる時がきます。諦めてはいけません。主の光を輝かせましょう。



	聖書	問題	名前 答え
日	詩編 91:1-15	神は羽をもってあなたを覆い、何の下にかばって下さいますか。	
月	92:1-16	神に従う人は白髪になってもなお何を結びますか。	
火	93:1-5	主こそ王。世界は固く据えられ、決してどうすることはありませんか	
水	94:1-23	どのような神として顕現し、全地の裁き手として立ち上がりますか。	
木	95:1-11	今日こそ、何に聞き従わなければなりませんか。	
金	96:1-13	聖なる輝きに満ちる主にどうしなければなりませんか。	
土	97:1-12	山々は何のように溶けますか。	
			感想と祈りの課題